

## 総論

# プレス災害発生状況と安全対策の最新動向

プレス検査業者災害防止協議会 中島次登\*

### プレス機械の使用状況と プレス災害発生状況

図1はプレス機械の稼働台数と労働災害発生件数を表したものである。プレス機械による休業4日以上の災害発生件数は、2001年から04年の間横ばい状況であったものが05年より順調に右肩下がりに減少している。

09年の大幅な減少は、リーマンショックの影響により経済環境の悪化のため、プレス加工業界

の減産により、プレス機械の稼働率の低下によるものと推測される。その後は3年間にわたり微増、12年から微減傾向に推移している。

棒グラフの中の数値は、プレス機械による死亡災害の発生件数、その下の数値はシヤによる死亡災害の発生件数を表したものである。14年はプレス機械により3件、シヤで1件発生している。

プレス稼働台数は、検査業者および事業内検査者による特定自主検査を実施した後に貼付ける検査済標章の頒布枚数を元に算出した。プレス稼働台数は、03年から08年まで約240,000台と横ばいで推移していたが、その後は減少傾向となっている。

\* (なかしま つぎと)：相談役 元中央労働災害防止協会  
〒277-0885 千葉県柏市西原 2-10-11  
TEL/FAX: 04-7153-5363

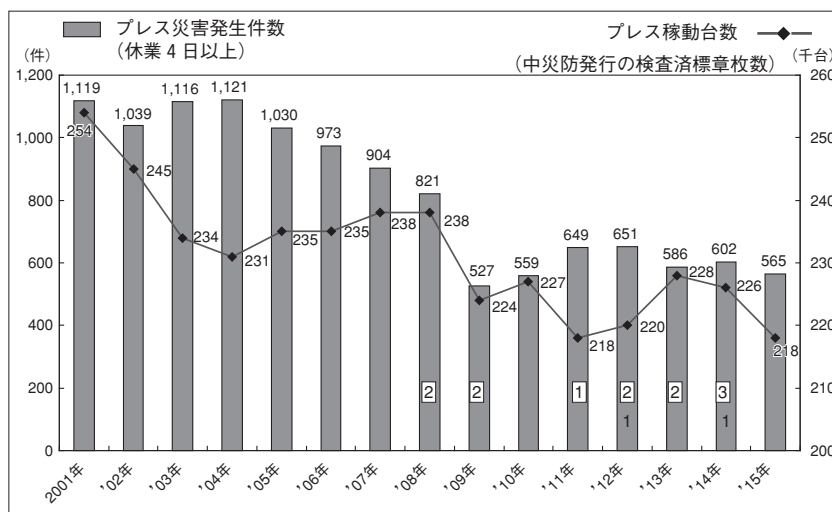


図1 プレス機械による災害発生件数